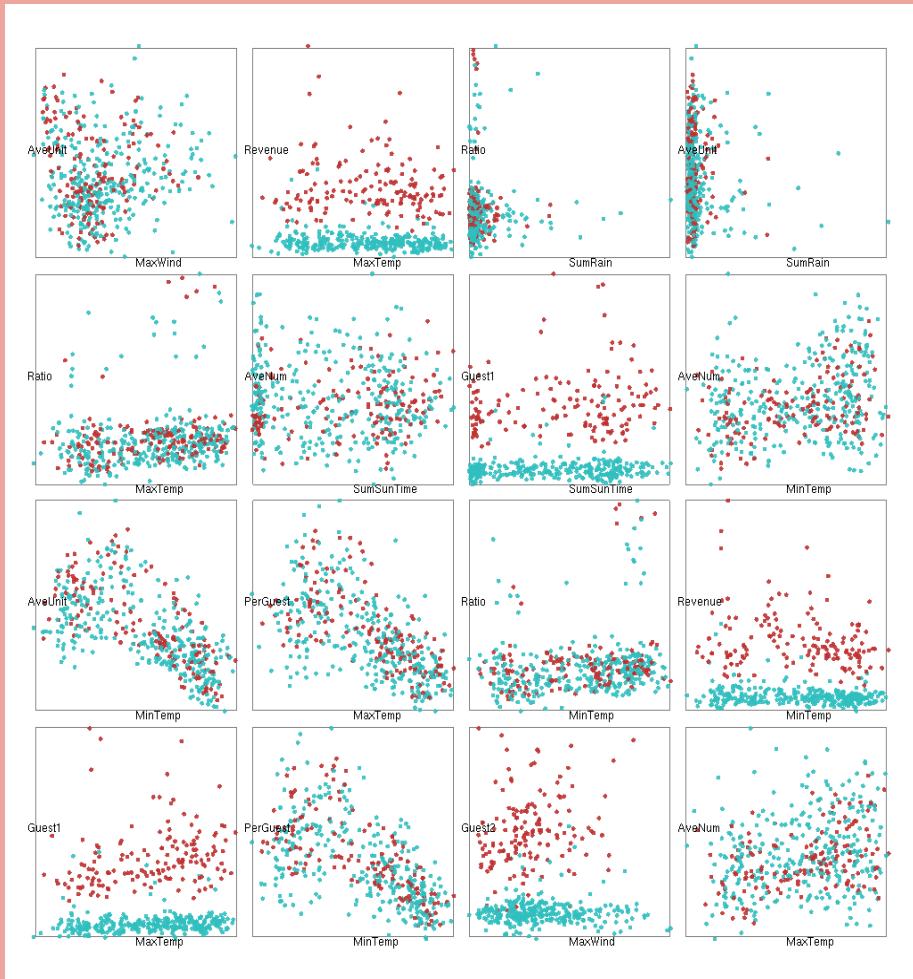
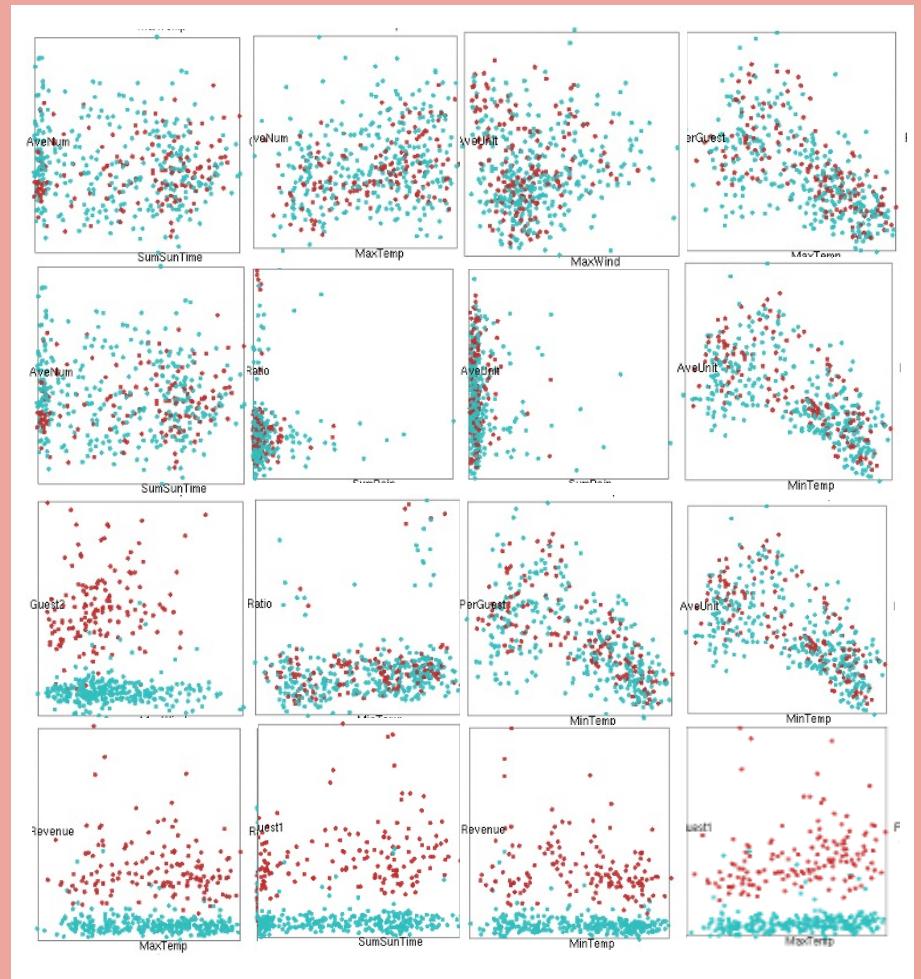


散布図選択による多次元データ可視化における表示順の改良

松尾深景, 伊藤貴之
お茶の水女子大学大学院 理学専攻 情報科学コース



現段階の手法の実装結果



今回の改良案(イメージ)

研究背景

- ・現代社会のデータの多次元化
- ・データの可視化への関心の集まり



多次元データから生成される散布図の中で、

- ・重要度の高い散布図の抽出
- ・多様な散布図の抽出

→ **多次元データの可視化ツールとしての役割**

散布図の表示順の改良の提案手法

類似度の高い散布図を近くに配置する表示

散布図間の類似度から階層クラスタリングを適用し、類似度が高いグループごとに表示

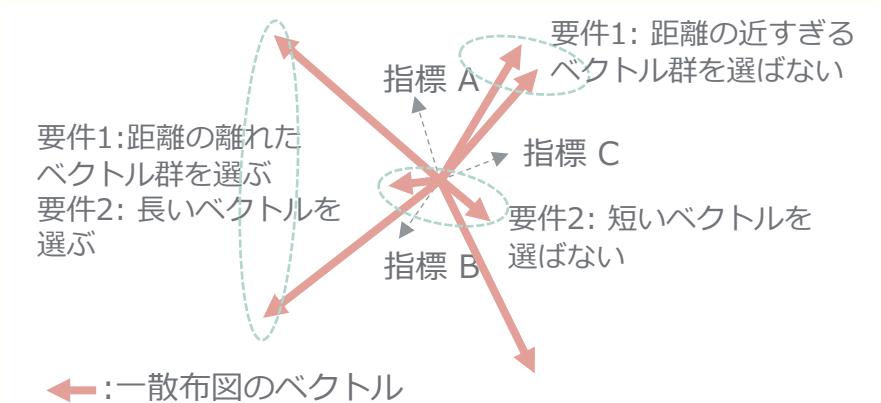
入力値：散布図間のコサイン類似度

計算手法：最小距離法を使用(検討中)

散布図の数値評価 [1]

- ・ 相関
- ・ 点群の細さ
- ・ クラスタの分離と例外点
- ・ クラスの分離

数値を指標としてベクトル化



[1] T. Itoh, et al., Multidimensional Data Visualization Applying a Variety-Oriented Scatterplot Selection Technique, Journal of Visualization, 2022.

今後の予定

実装結果の出力

他の指標についての検討